

平成 30 年度 第 4 回 西宮市公共事業評価委員会

西宮消防署建替事業

(事前評価)

議事録

開催日：平成 30 年 12 月 26 日（水）

開催場所：西宮市民会館 502 会議室

(西宮市六湛寺町 10 番 11 号)

平成 30 年度 第 4 回 西宮市公共事業評価委員会

1. 開催日時

平成 30 年 12 月 26 日（水） 15 時 30 分から 17 時 30 分まで

2. 開催場所

西宮市民会館 502 会議室
（西宮市六湛寺町 10 番 11 号）

3. 対象事業

西宮消防署建替事業（事前評価）

4. 出席委員

- (1) 会 長 西井 和夫（流通科学大学 経済学部 教授）
- (2) 副 会 長 吉田 有里（甲南女子大学 人間科学部 准教授）
- (3) 委 員 上村 敏之（関西学院大学 経済学部 教授）
- (4) 委 員 鈴木 利友（武庫川女子大学 生活環境学部 教授）

5. 出席者

《担当部局》

消防局 総務部

部 長 松浦 光廣

消防局 総務部 企画課

課 長 大月 新

係 長 原 康之

《事務局》

政策局 財政部 政策経営課

課 長 堂村 武史

副 主 査 小栗 佳奈

主 事 吉本 直人

6. 議事録

《挨拶、委員紹介》

- 事務局 本日は「西宮消防署建替事業」について評価をお願いします。
はじめに担当課より事業説明を行いますので、質疑応答の後、ご審議いただきまして、委員会の総合判断を取りまとめていただきたいと思いますと考えております。
- 会長 審議に入る前に会議録の署名委員を選出します。本委員会の運営要領第5条では、会長が署名委員を指名することになっていますので、本日は吉田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- 委員長 わかりました。
- 会長 次に、本日の委員会の公開、非公開についてお諮りします。本事業は特に非公開とする理由がありませんので公開としますが、よろしいでしょうか。
- 委員一同 (異議なし)
- 会長 本日の委員会は公開とします。傍聴を希望する方はいますか。
- 事務局 いらっしやいません。
- 会長 それでは、事業概要の説明をお願いします。

《担当課による事業説明》

- 会長 本日は前回の現地視察に参加されていない委員もいらっしやいますので、先ほどの説明や自己評価に関してご質問等があればお伺いしたいと思います。
- 委員 今回の建替によって、本施設の緊急車両の台数や隊員数が増加するというのもあるのでしょうか。また、それにはどのような背景があるのでしょうか。
- 担当課 職員数については、議会の承認を受け、増員計画を進めているところです。市内の各消防署において、9年程度かけて増員していく計画としており、その中で西宮消防署も増員を図っていく予定です。具体的には、人命救助の精鋭部隊である高度救助隊について、現在は梯子車と救助工作車の2台を乗り換えながら活動していますので、この状況を解消したいと考えています。
また、各消防署に指揮隊を配置することから、西宮消防署の職員数も増加する見通しです。
- 会長 職員や緊急車両の配置は市全体として検討がなされていて、本事業も全体の整備計画のなかで位置づけられているということでしょうか。
- 担当課 そのとおりです。全体の計画に沿って他の消防署についても部分的な改修などが進められます。
- 会長 わかりました。緊急車両について、通常の体制では消防車よりも救急車の出動が圧倒的に多いと思いますが、管轄エリア内の状況や出動頻度などを考慮して配置するのでしょうか。
- 担当課 市全体でみると確かに救急車の需要が増えており、過去に西宮消防署や鳴尾消

防署では救急隊を増隊しています。今後も各エリアの需要をみながら、全体の計画の中で救急車のほか不足しているポンプ車の増隊などを進めていきます。

会 長 いまのご説明を受けて、将来的な隊員体制や職員数などを踏まえて、適正な施設規模が検討されていることを確認しました。

会 長 ここからは委員会評価を行います。評価委員会の総合判断としては、「計画どおりの実施が望ましい」とすることを前提に、判断理由を議論していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会 長 はじめに「事業の目的・効果等に対する評価」ですが、事業の目的・内容については、現庁舎が抱える老朽化、狭あい化、耐震性といった課題を解決し、消防活動拠点としての機能整備と職場環境の改善を図る事業であるということで、適当(◎)と判断してよろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会 長 次に環境効果について、新環境計画に係る目標・施策としては、「快適なまち、温暖化防止、良好な環境」が挙げられています。本事業は市民の安心と安全に寄与し、快適なまちや良好な環境づくりに資する事業ですので、適当(○)と判断してよろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会 長 次に事業の年度別計画(経費)・効果についてです。自己評価シートに記載のとおり、事業による効果が認められますので、適当(○)と判断してよろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会 長 スケジュールについて、新庁舎の運用開始はできるだけ早期が望ましいところですが、事業期間の前倒しは難しいのでしょうか。

担 当 課 ここでは最短のスケジュールを想定していますので、このとおりに進捗できるように尽くすことが最善となります。

会 長 わかりました。全ての事業において言えることではありますが、スケジュール管理と経費節減の徹底については本事業でも意見しておきます。

委 員 前回の視察で話が出ましたが、現在使用中である福祉施設(旧消防待機宿舎)の移転が遅れると、別棟の着工が遅れる可能性がありますでしょうか。

担 当 課 仰るとおり遅れが生じる可能性があります。施設本体には極力影響のないように配慮します。

会 長 では留意事項として、「現在使用中である福祉施設(旧消防待機宿舎)の移転など、事業のスケジュール管理に配慮すべきである」と付け加えたいと思います。

委 員 現庁舎の跡地は、空き地のまま置いておくのでしょうか。

担 当 課 市として定期借地などの有効活用を検討しますので、空き地のままということはありません。

委員 財源確保に努めるということですね、わかりました。

会長 いまのご意見は「財政負担を少しでも軽減できるよう、現庁舎跡地の有効活用について検討すること」として、総合的な意見に付け加えたいと思います。

会長 次に「事業予測・説明責任に対する評価」について、評価委員会の見解を検討します。まず必要性について、築52年を経過する現庁舎は老朽化、狭あい化が著しく、耐震性も市の整備基準に合致していませんので、建替えが必要であると判断したいと思いますが、いかがでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会長 次に合理性について、自己評価シートでは代替案である現地建替との比較を行っていますが、ここに記載されている内容に同意するというので、妥当と判断したいと思います。

委員一同 (異議なし)

会長 次に事業効果1の各項目について、ご意見はありますか。

委員 施設の適正規模に関して、将来人口が減っていくなかで、消防需要は確実に増えていくと言えるのでしょうか。

担当課 消防署の職員数というのは、国の基準に基づいて人口によって定められているものですが、本市における「人口1,000人あたりの職員数」は、中核市のなかで明らかに少ない状況であったため、緊急車両の乗り換え等運用に支障が生じていましたが、96名を増員することによって、これを中核市の平均的な水準まで引き上げることができ、乗り換えの解消等、他市と同程度の水準となると考えています。

会長 日本は欧米のように地域に自警団の仕組みがあるわけではなく、消防はパブリックサービスの一番の仕事として位置づけられていますので、将来人口が減っていくとは言え、過剰投資にはならないと思うのですが。

委員 過剰投資とは思いませんが、オーバースペックにならないように気をつける必要はあると思います。将来人口が減っていくなかで、中核市の平均水準自体がどのように変動するのか気になるころですが、そもそも消防需要とは例えば「火災が頻発して職員が不足する日数が年間何日あるか」といった、数的分析に基づくものなのでしょうか。

担当課 消防需要に関するデータとして、30年前の救急出動件数は8,500件でしたが、昨年は23,000件と大幅に増加しています。将来的に人口は減少局面に移りますが、高齢化に伴って安否確認や救助による出動が増加すると考えられます。なお、火災については、現在とほぼ変わらない件数で推移する見通しとなっています。

委員 救急出動がますます増えるということですね、わかりました。

委員 施設規模に関してもう一点確認ですが、潜水プールをはじめとした訓練施設は先進的なものと言えるのでしょうか。

担当課 消防署内の訓練施設としては充実していると言えますが、やはり水難事故もありますので、潜水プールは必要であると考えています。なお、県下では消防学校以外に神戸市、明石市が同様の訓練施設を持っています。

委員 現在は潜水訓練をどのように行っているのですか。

担当課 三木市にある県の施設のほか、海で訓練を行っていますが、頻繁に通うことができないこと、また危険が伴うことから、市内に訓練施設が必要であると考えています。

会長 消防士のような専門職は、常にトレーニングに励み、スキルアップを目指す必要があると思いますので、それを意識づける意味でも、職場である消防署内にこういった施設があることは望ましいかもしれません。

会長 それでは事業効果1については、適切な規模の施設整備が計画されており、現在の劣悪とも言える職場環境も本事業によって解決されると期待できることから、事業効果が認められると判断したいと思います。

委員一同 (異議なし)

委員 事業効果2の社会性の項目については、一般的な取り組みが計画されているということですが、具体的に検討している内容があれば、それは記載しておく必要があると思います。

担当課 地域防災の拠点として、市民に対する救急講習や防災啓発の普及指導に活用できる会議室等を計画していますので、シートに追記いたします。

会長 事業効果3については、記載されている内容に取り組むということで、事業効果が認められるため、妥当と判断したいと思います。

委員一同 (異議なし)

会長 最後に反対意見等ですが、計画の見直しを主張すべきポイントや事業に対する懸念事項等は、これまでの審議の中で出てこなかったかと思いますので、特になしとしてよろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会長 それでは、ここまでの審議を踏まえた評価委員会の総合的な意見ですが、計画どおりの実施が望ましいとした上で、「事業計画の進捗についてスケジュール管理に配慮すること、財政負担を少しでも軽減できるよう現庁舎跡地の有効活用について検討すること」の2点を意見しておきたいと思います。

会長 本日の内容は事務局で整理していただき、委員会評価シートおよび会議録にまとめて提出してください。以上で本日の審議を終了いたします。